

令和6年度 江東商業高等学校 年間授業計画（2学年用）

教科：（保健体育） 科目：（体育） 単位数：（2単位） 対象：（第2学年A組～E組女子）

教科担当者：（A組～E組：小野・松山）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科・科目の目標：

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 (3) 運動における競争や協働の経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元項目	学習内容	知・技			思 態	評価規準	評価の観点			配 当 時 数
			知	技				知	思	主	
1 学 期	オリエンテーション 水泳 スポーツテスト	クロール25メートル 背泳ぎ 25メートル 泳法、タイム測定 ・50m走（走力） ・握力（筋力） ・反復横跳び（敏捷性） ・ハンドボール投げ（投力） ・立ち幅跳び（跳躍力） ・20mシャトルラン ・上体起こし（筋持久力） ・長座体前屈（柔軟性）	○	○	○	○	（知）自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 （思）健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 （主）水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 （主）スポーツテストに自主的に取り組むとともに、記録などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、挑戦を大切にしようとする、安全を確保しようとしている。	○	○	○	10
	バドミントン	各種基本打法 サーブ（ロングサーブ、ショートサーブ） シングルスゲーム ダブルスゲーム	○	○	○	○	（知）ネット型のゲームの特性やバドミントンのルールを理解し、安全に練習やゲームを行うための正しい知識をもつことができる。 （思）攻防などの自己や仲間の課題を発見し合理的、計画的な解決に向けたと陸意味を工夫し自己の考えたことを他者に伝えることができる。 （主）バドミントンに主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイを大切にしようとする、互いに助け合い教えあおうとすることなどや、健康・安全を確保する。	○	○	○	10
	【体育理論】 運動・スポーツの学び方	1 スポーツにおける技術と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達過程と練習 4 効果的な動きのメカニズム 5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	○	○	○	○	（知）様々な運動種目について、それぞれがどのような運動技術を必要とするのかについて正しい知識をもつことができる。 （思）運動技術の種類について、自らが行ったことのある種目に当てはめて考えることができる。 （主）それぞれのスポーツ種目が、どのような運動技術を必要としているのか、積極的に学習できる。	○	○	○	6

